

# 卒後のキャリアアップ・地域貢献について

～愛媛大学医学部地域枠医師の  
医療技術向上と地域貢献～  
地域医療支援センターの取り組み



愛媛大学医学部附属病院  
地域医療支援センター  
高田清式



愛媛大学マスコットキャラクター  
【えみか】医学部バージョン



マドンナドクター

# 地域枠医学生 愛媛大学・県の関連

## 地域枠については

- 愛媛県地域医療医師確保奨学金貸与条例に基づき  
奨学金の貸与を受けた者
- 一般の入学枠とは「別枠」で選抜する
- 卒直後から愛媛県内で9年間以上従事する
- 愛媛県（大学等）のキャリア形成プログラムに参加  
（専門医取得）する \*専門医と義務履行の両立
- 志願時に、県と本人・保護者が従事要件・離脱要件  
に書面同意する
- 学校長推薦

# 卒業前支援プロジェクト (地域枠学生及び、自治医大・一般入試医学生)

## 目的

- 現地実習などを通して、地域医療従事の意義を学ぶ。
- 地域医療におけるプライマリ・ケアの概念や実態について知見を深める。
- 地域に触れ、地域医療に求められる多様なニーズを学ぶ。

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
臨床実習・ ワークショップ	【愛大】地域医療ワークショップ(準正課・選択)						
	【愛大】 早期医療 体験実習 (正課・必修)			【愛大】地域医療におけ る臨床実習(正課・必修)		【自治医大】 地域医療Ⅱ (必修)	【自治医大】 都道府県拠点 病院実習(必修)
地域病院見学・ 交流	【愛大】実地医療体験実習(9月) (準正課・選択)						
	【愛大】地域病院見学バスツアー(年数回)						
	【県・各市町・センター】地域医療実習(8~9月)						
その他	【県・センター】医学生サマーセミナー(8月)						
	【県・センター】 説明会・意見 交換会					【県・センター】 説明会・意見 交換会	
	【県・センター】 個人面談(随時)						

# 愛媛県主催医学生サマーセミナー／ 当センター参画（令和5年8月19日(土)）

目的：愛媛の地域医療に興味・関心を持つ県内外の医学生を対象に県内の地域医療への理解を深める

- ①地域医療現場での日々の研修や学生時代の振り返り  
愛媛大学医学部附属病院 井村 優先生、  
西予市民病院 畠山 翔先生
- ②ワークショップ「愛媛県の地域医療の魅力を知ろう！」  
愛媛大学医学部附属病院 総合診療科 菊池 明日香先生
- ③各市町村・病院での地域医療の現状説明・若手の活躍と課題・期待  
愛媛県内の四国中央市、愛南町の職員  
四国中央病院 北川 哲也院長、  
県立南宇和病院 三瀬 順一先生
- ④激励「専門医を取得し、さらには取得することを通じて患者さん全体を見ることができるようになり、ひいては医療全体を見ることができるようになって欲しい！」  
地域医療支援センター 高田 清式先生  
：司会 愛媛大学医学部地域医療学講座助教 二宮 大輔先生



# 愛媛県知事と地域枠奨学医学生1年生との懇談会

令和5年9月25日(月)に今年度入学の医学部医学科地域枠の1年生を地域医療支援センター引率の元、愛媛県庁を訪問し、中村時広愛媛県知事と和やかに懇談した。

医学部から今年も愛媛県地域枠医師確保奨学金によって20名の地域枠学生(第15期生)を迎えることができたことへの謝辞・報告をし、医学生同志は地域医療貢献のために活躍が期待されていることをあらためて確認し合い、さらに中村知事から地域医療への貢献に対し激励の言葉をいただいた。



# 第22回地域病院見学バスツアー

：令和5年11月10日(金)

東予地域（HITO病院、四国中央病院）



HITO病院：病棟・施設見学、総合診療の症例提示と講義「患者の治療と要望に添って」



四国中央病院：災害拠点、小児科現場の講義、新生児室見学、内視鏡シュミレータ実施

# レジナビ参加（対面での面談）

令和5年5月14日:博多国際展示場

令和5年6月18日:東京ビッグサイト

令和5年7月2日:インテックス大阪



# シームック(動画配信)

令和6年3月26日

(予定)



愛媛県は、四国の北西地域と瀬戸内海に浮かぶ小さな島々からなる、四国地方では最も人口が多い県です。県域は3つの地域、東部の要予、中央部の中予、南西部の南予に分かれています。県庁所在地は中予地域の松山市になります。温暖で過ごしやすい、瀬戸内海&宇和島の2つの海の幸などの他、お肉にフル



※写真は2022年度実施時のものです

＊ ＊ 県内各研修病院が参加（県内で研修を行うための、他大学医学生への具体的な説明会） : 引率し実施

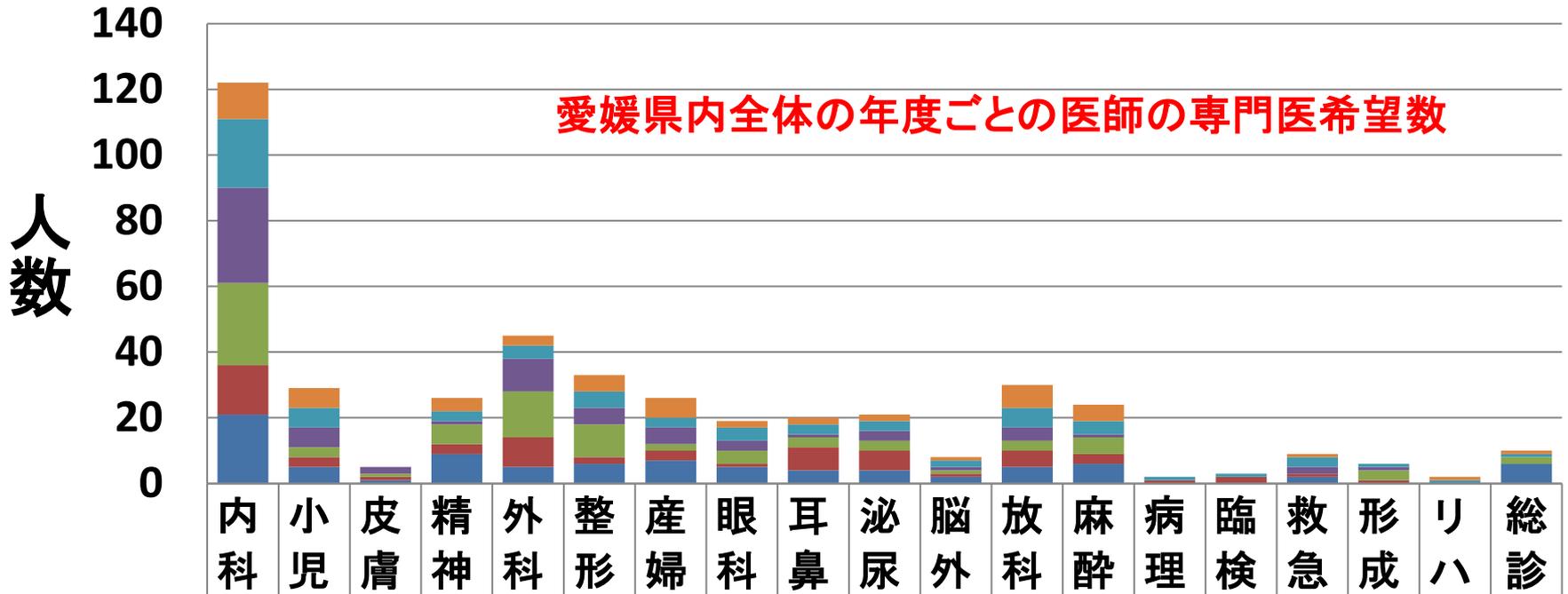
# 愛媛県医師確保奨学金について

- へき地医療医師確保奨学金  
平成19年度～貸与開始（累計4名）
- 地域医療医師確保短期奨学金  
平成21年度～貸与開始（累計10名）
- 入学時からの奨学金貸与制度で、  
地域医療医師確保奨学金（地域枠：入学～6年間/義務9年）  
平成21年度～開始（入学定員10名）  
⇒毎年継続し、現在入学定員20名に増  
令和5年度現在：累積272名（うち医師として144名が活躍）

平成21年度より地域医療を担う人材の育成を目的として、愛媛県地域枠奨学制度による医学生（以下、地域枠医学生）が入学し、第一期卒業生は平成27年度から県内の病院での臨床研修を開始した。  
令和5年度は、第一期生は卒後9年目の医師として地域に貢献しつつある。さらに義務年限終了後も、県内での活躍を期待している。

# 愛媛県内専攻医全体数

## 診療科別2018-2023年度採用数



	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻科	泌尿科	脳外科	放射科	麻酔科	病理科	臨床検査科	救急科	形成外科	リハビリ科	総診療科
2023採用57	11	6	0	4	3	5	6	2	2	2	1	7	5	0	0	1	0	1	1
2022採用72	21	6	0	3	4	5	3	4	3	3	2	6	4	1	1	3	1	1	1
2021採用74	29	6	2	1	10	5	5	3	1	3	1	4	1	0	0	2	1	0	0
2020採用85	25	3	1	6	14	10	2	4	3	3	1	3	5	0	0	0	3	0	2
2019採用65	15	3	1	3	9	2	3	1	7	6	1	5	3	1	2	1	1	0	0
2018採用88	21	5	1	9	5	6	7	5	4	4	2	5	6	0	0	2	0	0	6



# 配置先決定のプロセス

県医療対策課/地域医療支援センター

## 手順①

### 指定医療機関の配置要望調査

- ・診療科ごとに配置医師希望調査
- ・市町が意見を付して要望

## 手順④

### 全体の配置に隔たりなく配置

隔たりがあれば調整したうえで配置決定

地域医療支援センター運営委員会

- ・医師確保部会／医師確保支援WG
- ・保健医療対策協議会

## 手順②

### 配置する圏域選定

- ・人口10万人当たりの診療科別医療施設従事医師数から少ない圏域
- ・\*小児科0-14歳/産婦科15-49歳の推計人口から設定
- ・医師偏在指数を加味

## 手順③

### 面談

### 配置する病院(診療科)を選定

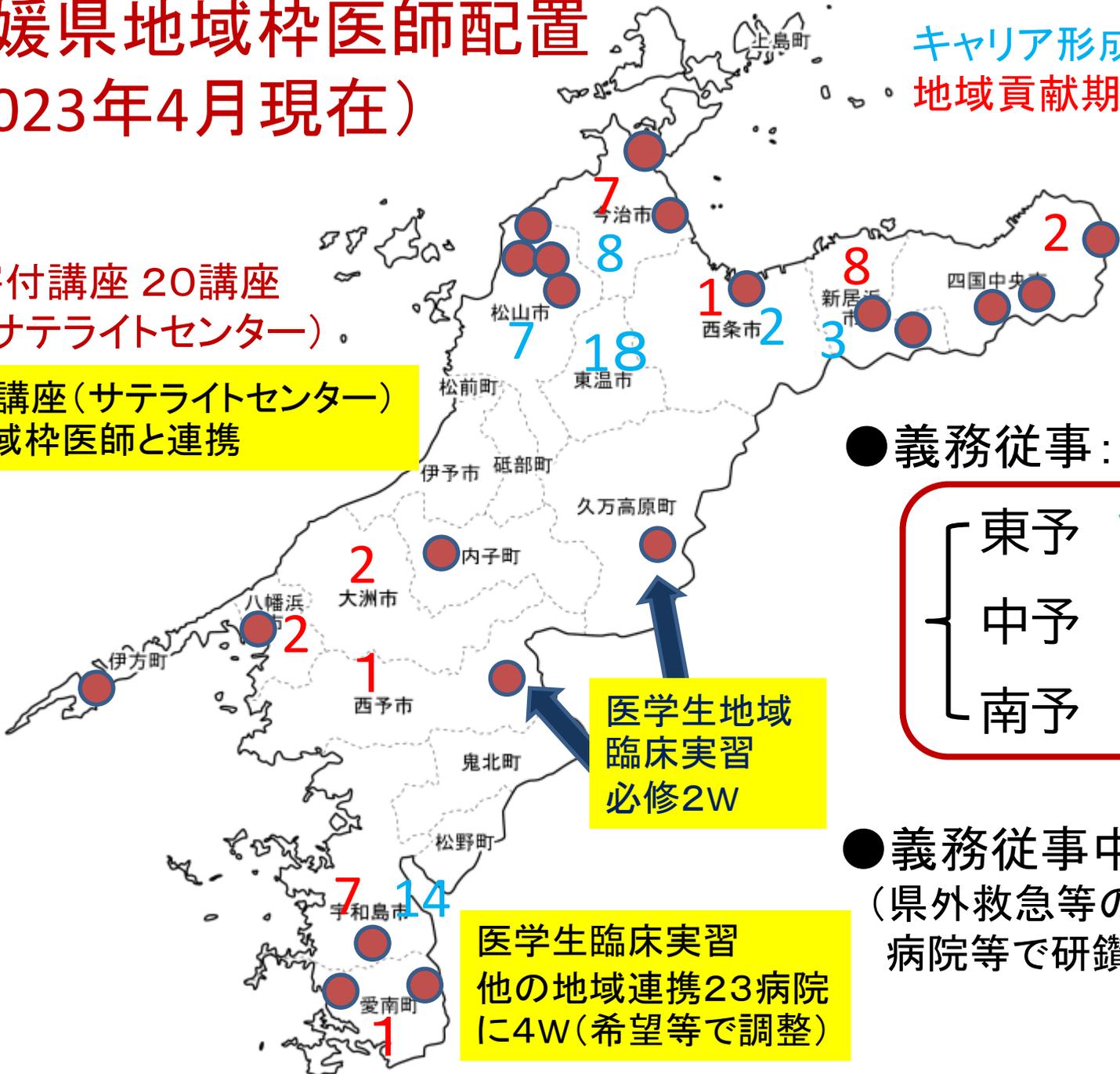
- ・市町の要望に配慮
- ・地域枠医師の希望を踏まえる
- ・医師が不足する病院を優先

# 愛媛県地域枠医師配置 (2023年4月現在)

キャリア形成期間(専攻医)  
地域貢献期間

● 寄付講座 20講座  
(サテライトセンター)

寄付講座(サテライトセンター)  
も地域枠医師と連携



● 義務従事:

東予	13、18人
中予	7+18人
南予	14、13人

医学生地域  
臨床実習  
必修2W

医学生臨床実習  
他の地域連携23病院  
に4W(希望等で調整)

● 義務従事中断: 12、9人  
(県外救急等の病院や大学  
病院等で研鑽、大学院進学)

# 地域枠奨学生医師のキャリアアップのまとめ

- 専門医とは各々の診療領域における適切な教育により、十分な知識・経験を持ち、患者から信頼される標準的な医療を提供できる医師である。
- 愛媛県の奨学金は、専門医としての医療技術の習得（知識・技術・態度）に努めながら、地域貢献（義務履行）を行う制度である。
- 専門医として選択される診療科に制限はない。
- 義務履行後もさらなる活躍・発展を期待している。
- 地域医療支援センターとして、これからも愛媛の地域医療の向上に努めていく。